

# おたる 西別院だより

季刊 第87号



ちぎり絵「昇陽」

## 年末・年始のご案内

- 除 夜 会 ... 12月31日(水)15時 ..... 於本 堂
- 除 夜 の 鐘 ... 12月31日(水)23時50分 ..... 於 鐘楼堂
- 元 旦 会 ... 1月1日(木)6時30分 引き続き御流盃の儀 ... 於本 堂
- 宗祖聖人御祥月法要 ... 1月15日(木)・16日(金)13時30分 ..... 於本 堂
- 新 年 交 礼 会 ... 1月16日(金)16時 ..... 於ホ-ール

12月29日(月)から1月6日(火)まで、月忌参詣をお休みさせていただきますので、  
どうぞお寺にお参りください。

# 年頭法話



輪 番 立 森 成 芳

明けておめでとうとございます。  
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

私は先年、「味わう」ということについて、大変考  
えさせられるご縁に恵まれました。それというのは、  
熊本におりましたときに、今はゴルフ場の社長さんを  
されていますが、以前は国税局のお酒の検査官だった  
とおっしゃる藤川さんのお話を伺うことができたので  
す。

藤川さんは毎日お酒の味見をすることがお仕事だった  
のです。毎日お酒の味見をすることがお仕事だなんて、  
世の中にはうらやましいお仕事もあるもんだと思う人  
があるかも知れませんが、この聞き酒というお役目は  
お酒を飲み込んでつとまりません。口の中で味見を  
したお酒は全部もどしてしまつて、口の中をもとどお  
りにして次のお酒の味見をする。もし一滴でも飲み込

んでしまったならば、もうあとのお酒の味はわからな  
くなつてしまうのだそうです。

私はこのお話を伺いましたときに、なるほど、本当  
に「味わう」とはそういうことなんだなあと感じいら  
しました。本当にその場その場の味を百パーセント味わ  
おうと思つたならば、前の味が少しでも残つていては  
だめなのです。その時その時の味を完全に味わいつく  
そうと思つたならば、一回々々が完全に零にたち帰つ  
ていかなければなりません。

私達が「人生」というとき、今日大方の人が「人生  
五十年」、あるいは、「人生八十年」と考えるでありま  
しょう。しかし人生とは、つまるところ「今日一日、  
今日一日」ということではないでしょうか。私達は今  
日一日生きることができたからといって、また明日も  
生きられるという保証はどこにもありません。

私は、今朝パッチリと目ざめたことを、当たり前と  
しか思えない人は不幸な人だと思ひます。パッチリ  
と目ざめたことに驚きを感じないような人は愚かな人  
だと思ひます。朝のめざめの一時に、今日もまた、新  
しい一日を生かしていただくとはお蔭様でございます  
と、恵まれた今日一日のいのちに、心を震わすような  
人こそが、本当に生き甲斐のある幸せな人生を生きて  
いる人だと思ひます。本年も今日一日々々を、お念仏  
とともに生き抜きましょう。

## 二〇〇九年(平成二十一年)

# 年忌表

年回忌法要についてのお願ひ

●法要をご予定の際には、日取りを事前に別院とご相談の上、お決めください。

●別院にて年忌法要を、おつとめされる場合は、仏間の使用冥加金を申し受けます。

一周忌	平成二十年
三回忌	平成十九年
七回忌	平成十五年
十三回忌	平成九年
十七回忌	平成五年
二十五回忌	昭和六十年
三十三回忌	昭和五十二年
五十回忌	昭和三十五年

### 「画題「昇陽」によせて」

この度は、私のちぎり絵の作品が表紙を飾らせて頂くことになりました。まだまだ未熟者の私でお恥ずかしゅうございます。たまたま月忌参りでお出でになりました職員さんが、制作中の作品をご覧になり、面白いからと他の作品も何点が写して行かれ、その後表紙にしたとのことのお話がありました。一度は御辞退致しましたが、この様な次第となりました。御覧下さいませ。合掌

小樽別院仏教婦人会会員

見楚谷 光子

# お寺のイロハ「撞いてもきえない煩惱」

年の瀬が近づいて来ると、あちこちで一年を総括するように、大掃除を始めたたり年賀状の準備を始めたります。

そんなこんなが終わると大晦日には年越し蕎麦を食べて、除夜の鐘を撞いて、初詣に行くなんていうのもごくごく自然な流れになりますね。今回は浄土真宗門徒として除夜の鐘をどのように受け止めるべきか考えたいと思います。

通常除夜の鐘は百八回鳴らすと言われております。三十六ある煩惱を過去現在未来の三世に渡って撞くからであるとか、十二月二十四節氣・七十二氣候の合計であるとか、はたまた四苦八苦（四十九十八×九）の合計かに起源があるなど諸説さまざまです。

インドでは、百八という数字は数の大きい様子を表すようです。先の由来や語呂合わせなどもそうですが、人間の煩惱がたくさんあってそれを何とかしようとしていることには間違いなさそうです。

煩惱とは、私たちの心身を乱し、悩ませ、正しい判断を妨げるものであります。仏教では貪欲（むさぼり）、瞋恚（いかり）、愚痴（物事を正しく判断できない愚かさ）の三つを「三毒」といい、人間の根源的な煩惱と定めています。これを取り除くため鐘を撞くようですが、これは大きな心得違いです。

除夜とは夜を除くと書きますが、これは「心の闇を除く」というところからきているそうです。自分自身で作りあげた煩惱は制御できません。鐘を撞いてもすぐにまた湧き上がってくる煩惱をなかつたことにするのは浄土真宗の考えではありません。

「除く」のではなく「覗く」ようにして我が身を振り返りましょう。決して消えさることのない煩惱を「しっかり自覚せよ」と教えてくれる音色の中に「そうであった」とお念仏申させていただき新年をお迎えしましょう。

# 除夜の鐘

上のお話は読んでいただけましたでしょうか？今年も小樽別院では除夜の鐘を予定しておりますので、お誘いあわせの上お参りください。



日時 12月31日（水）午後11時50分から  
場所 小樽別院鐘楼堂（境内地内）

※今年もお蕎麦のお振る舞いを用意してお待ちしております。  
尚、12月31日午後3時からの除夜会（法要）  
1月1日午前6時30分からの元旦会（お屠蘇のお振る舞い  
もあります）も併せてよろしくお願ひします。



報  
恩  
講  
写  
真

準備から当日

10月4日～おみがき～

50名以上のご参加・ご協力をいただきまして、仏具みがき・本堂の拭き掃除から敷地の塀の清掃にいたるまでありがとうございました。



お供物作ってます



早くからお斎の準備も始めてます



10月10日・11日

双葉高校・中学参拝  
小樽幼稚園・若竹保育所・新光保育園合同参拝



10月10日には双葉高校が参拝。引き続き三園も参拝



10月11日には双葉中学が参拝

10月13日～16日 報恩講当日



～布教の様子～笑顔をお見ながらみなさん熱心に御聴聞



15日の大  
連夜法要の後、  
親鸞聖人の御  
生涯を記した  
御俗姓を御輪  
番に御拝読い  
ただきました。



15日のお斎はおよそ300食が振  
る舞われました。

## 16日満日中～御礼言上



いよいよ最後。後志のご法中・布教使が右に、御輪番・総代が左に控え無事に報恩講が勤められたことを報告し、御輪番からお礼の挨拶をいただきました。

報恩講の締めくくりに満日中法要には、後志のご法中が揃ってお勤めしてくださいました。

## 9月28日若竹説教所 彰心会 報恩講



今年も別院に先駆けて報恩講をお勤めしてくださった若竹のみなさま。ここからみんな報恩講気分を味わうのです。

## 11月2・3日奥沢説教所 樹心会・唯信講 報恩講



## 10月24日・25日 新光説教所 法友会 報恩講



別院の報恩講が終わり一息つく間もなく、準備です。遠路はるばるみなさまようこそお参りくださいました。



最後を飾るのは奥沢説教所。今年は初夜法要に引き続き、親鸞聖人の御遺徳を偲ぶ祖徳讃仰が行われました。

ご門徒さん  
を訪ねて

第6回

(有)西森電機商会

住所 天神一丁目十番三号 電話(二四)〇五〇三番

「昔のこと聞きたいんだったら、うちの親に聞けばいいのに。」「そうだあ、なんでもう  
ちなんかに」とご夫婦そろって笑顔を迎えて下さった西森さん。いやいやお店の紹  
介がメインなんでそこをなんとかとこちらも笑顔で取材に応じていただきました。



幼稚園の  
頃からお念  
珠もってお参  
りはしてい  
らっしゃった  
ご様子。高  
校出てから

は結構あるん  
だよな。」と話  
してください  
ました。他に  
印象に残って  
るお寺さんは  
いますか？と



「仕事にのるわけさ。電話がかかって  
きて今晚どうですかって言われたら  
出るわけさ。一時期忙しくて断つた  
こともあったけど、やっぱり断り続  
けるわけにはいかなから出るんだ  
よね。ずいぶんご馳走になったわ。」  
と懐かしそうに笑って語ってくださ  
いました。

「親父が亡くなった時は、奥沢の  
説教所で通夜・葬儀をやったよ。親  
父は四十六歳で亡くなって、俺が今  
六十歳、不思議なもんだ。」奥沢説教  
所での思い出を聞くとこんな言葉が。  
「説教所のお講(樹心念)はうちのばあ  
ちゃんが勝手に入れたんだよ(笑)。  
斎藤先生の頃だったかな。あとは梶  
さんの結婚式も出たし、お寺には顔  
出さないけどお寺さんとの付き合い

「今でもたまに呑みに行きましょ  
うって若いお寺さんが誘ってくれる

取材を終えて

「毎度」と電話一本でニコ  
ニコお寺に来てくださる電機  
屋さん。近所のおっちゃんとい  
うか親戚の叔父さんという  
か、良い意味で親しみのある  
方で楽しくお喋りさせていた  
だきました。お忙しい中あり  
がとうございました。(森)

「最後に、お寺に何かありますか？と  
の問いに「どんだん世代は変わって若  
いお寺さんになるけどみんな友達み  
たいなもんだ、何の抵抗もないよ。」  
と締めてくださいました。

真心をモットー

安心と信頼 全葬連if 共済会 『if ネット北海道』

小樽典礼株式会社

0120-27-1801

(携帯電話等からもご利用いただけます。)

小樽典礼斎場

小樽市稲穂3-2-10  
(当社向い 中央バス中央通りバス停そば)  
Tel 0134-22-1801

製造直売の店

仏壇・仏具・お宮・神具

片桐仏壇店

小樽市入舟4丁目5番入舟大通り  
TEL (0134) 23-1309 (代)

広告募集

「おたる西別院だより」に掲載して下さる商店や業者等を募集しております。  
詳しくは 0134-22-0744 別院だより担当者：森までご連絡下さい。

# 別院門徒物故者

（平成二十年十月末日現在）



# 本堂修復懇志新規 進納者御芳名

（平成二十年十月末日現在）

佐藤 十九一 井城 昭二  
 矢野 春見 小野 悦子  
 三浦 利之 植田 キミ  
 白木 秀一  
 （敬称略）

# 物品寄贈

本堂内陣用畳（礼盤用） 木下 豊店  
 報恩講用炊飯器 匿名  
 お盆 三十枚 若松一丁目会  
 （敬称略）

ご寄贈有難うございました。



3分間の心のともしび 小樽別院

# テレホン法話

24時間いつでもどうぞ **TEL 27-1616**



1/ 1休～15日休	輪番
1/16金～31日出	西川
2/ 1日～15日休	磯村
2/16月～28日出	梶
3/ 1日～15日休	森本
3/16月～31日火	村田
4/ 1休～15日休	温井
4/16木～30日休	森

# みんな仲良し 小樽幼稚園



～まこと(いのち)の保育を行っています～



## 元気に遊んでいます♪

雪が降っても、小樽幼稚園の園児は、お外が大好き。バスの運転手さんと、除雪作業の車が作ってくれたすべり台は、大地の贈り物。子どもたちのために頑張ってくれてありがとう。今年もいっぱい降ればいいな♪(写真は昨年の様子)

当園では、浄土真宗のみ教えに基づき「いのちの大切さ」「自然への感謝」「やさしい心」を育てる保育に努めています。

又、お絵かきや工作などのクラスでの活動の他に、プール遊びや、週に2・3回クラス合同のホールでのリズム遊びなどを通し、異年齢の交流を深めており、年長から年少までみんな仲良く遊んでいます。

是非一度見学にお越し下さい。(年中見学可能です。)

☆**保育時間**→月曜日～金曜日(8:30～14:00/冬期間(12月～3月) 8:30～13:30)

☆**昼食**→お弁当～週2回/給食～週3回(パン食2回/米食1回)

☆**預り保育**→月曜日～金曜日(17:30迄)行います。(15:00迄は無料です/降園バス有)

☆**プール遊び**→年間を通して、温水プール遊びを行っています。(年長のみプール指導有)

☆**英会話**→月2回年長のみ行います。

☆**体操教室**→月1回年長・年中・年少に分かれて行います。

☆**送迎バス**→ご希望の方は、ご自宅付近まで送迎致します。

☆**主な行事**→花まつり・降誕会・運動会・親子遠足・バス遠足・いも掘り・報恩講・お遊戯会・おもちつきなど。

☆**ならし保育**→満2歳以上、就園未満のお子さんを対象に、火曜日クラスと木曜日クラス(毎週各1回)にて保育を行います。

※詳しくは、入園案内をごらんください。

## 園児募集

途中入園可能

募集園児 3歳児(H17.4.2～H18.4.1生まれ)

4歳児(H16.4.2～H17.4.1生まれ)

5歳児(H15.4.2～H16.4.1生まれ)

願書受付 新入園受付中です。

※事前に御連絡下さい。



学校法人 小樽龍谷学園

小樽市若松1丁目4番17号

小樽幼稚園 TEL FAX 0134-22-6536